

インフォコム株式会社

2014年3月期 第2四半期決算説明会

2013年10月29日

インフォコムグループは、ICTの**進化**を通じて、
社会の**イノベーション**に貢献します。

United Innovation
infocomgroup

1 2014年3月期 第2四半期決算

2 2014年3月期 通期業績予想

3 上期主要施策と下期取り組み

参考資料

1 2014年3月期 第2四半期決算

2014年3月期 第2四半期 決算ハイライト (連結)

■ 対前年同期 : 大幅増収・微減益
業容拡大は順調に進捗

(単位：億円、%)

	2013年3月期 2Q累計	2014年3月期 2Q累計	前年同期比		期初計画比	
	金額	金額	増減額	増減率	計画値	増減額
売上高	162.8	177.9	+15.0	+9.3	180.0	△2.0
営業利益 (営業利益率)	10.3 (6.3)	9.3 (5.2)	△1.0	△10.2	10.0	△0.6
経常利益	10.4	9.3	△1.0	△9.8	10.0	△0.6
四半期純利益	6.4	5.4	△0.9	△15.1	6.0	△0.5

セグメント構成と重点3事業

ITサービス セグメント

ヘルスケア事業
エンタープライズ事業
サービスビジネス事業
医療・企業・公共機関向け

ヘルスケア

GRAND IT

ネットビジネス セグメント

ネットビジネス事業
一般消費者向け
電子書籍、ゲーム

電子書籍

セグメント別売上高（連結）

- ITサービス：一部顧客企業向けは減収も、ヘルスケア事業の業容拡大により、増収
- ネットビジネス：電子書籍の好調により、増収

（単位：億円、％）

	13年3月期 2Q累計	14年3月期 2Q累計		前年同期比		期初計画比	
	金額	金額	構成比	増減額	増減率	計画値	増減額
売上高	162.8	177.9	100.0	+15.0	+9.3	180.0	△2.0
ITサービス	107.2	110.9	62.4	+3.7	+3.5	—	—
ネットビジネス	55.6	66.9	37.6	+11.3	+20.4	—	—

セグメント別営業利益（連結）

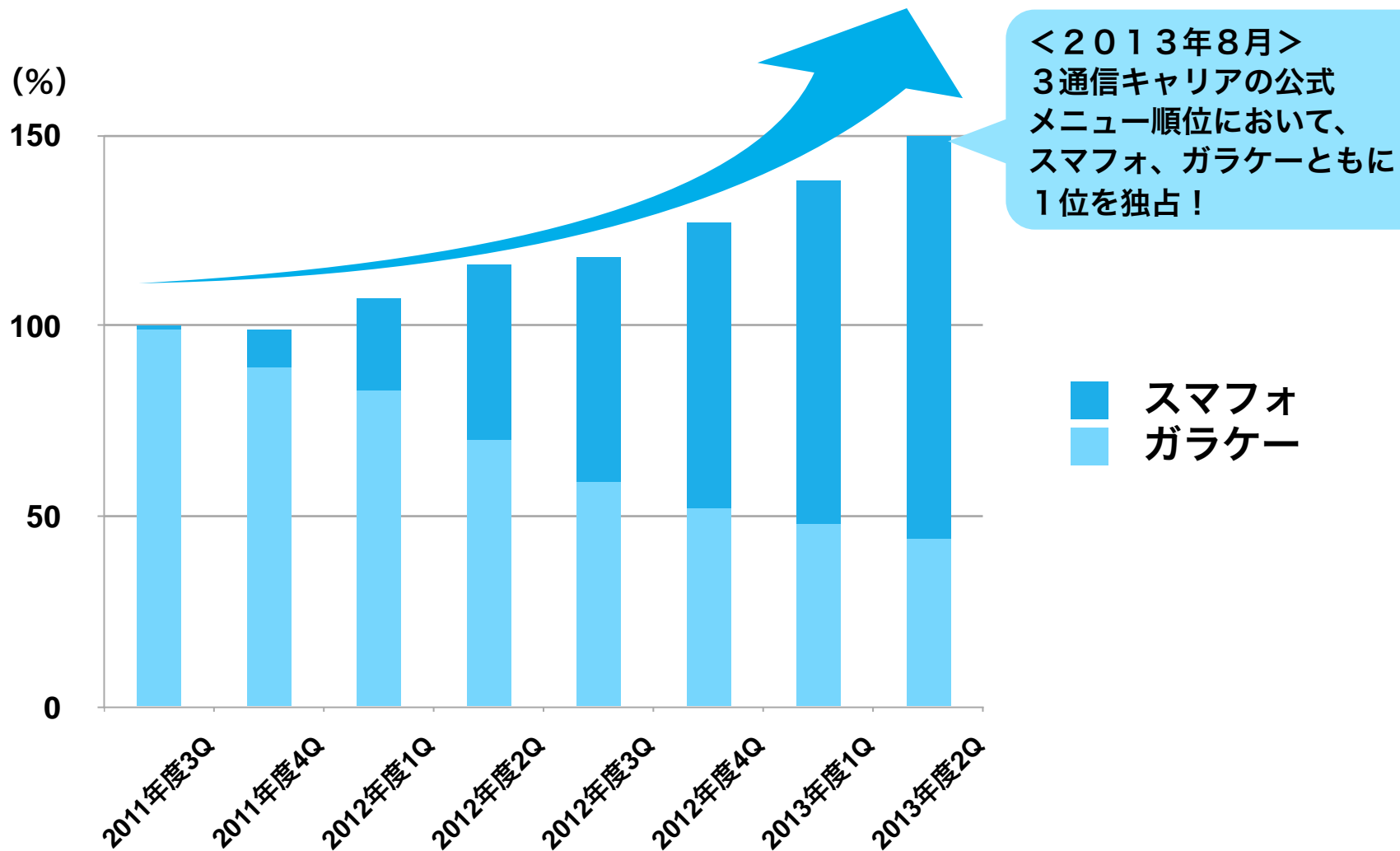
- ITサービス：不採算事業譲渡等の事業構造改革による改善
重点事業の成長加速に向けた先行投資の実施
- ネットビジネス：電子書籍の成長のため積極的な広告の出稿
新規サービスへの資源投入の実施

（単位：億円、％）

	13年3月期 2Q累計	14年3月期 2Q累計		前年同期比		期初計画比	
	金額	金額	構成比	増減額	増減率	計画値	増減額
営業利益 (営業利益率)	10.3 (6.3)	9.3 (5.2)	100.0	△1.0	△10.2	10.0 (5.5)	△0.6
ITサービス	6.3 (5.9)	6.0 (5.5)	65.3	△0.2	△4.2	—	—
ネットビジネス	3.9 (7.1)	3.1 (4.8)	34.2	△0.7	△19.3	—	—

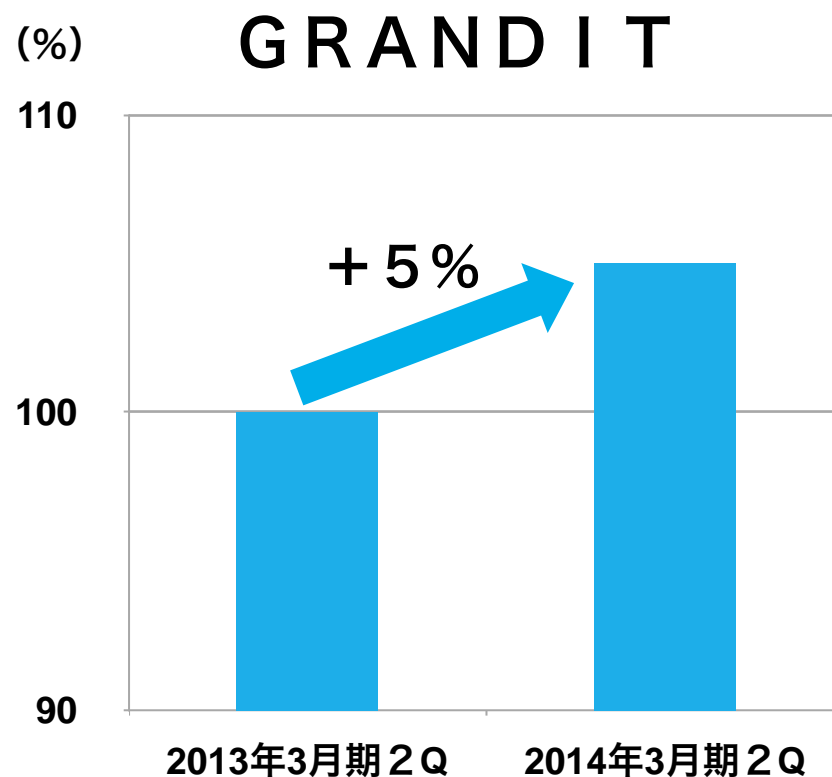
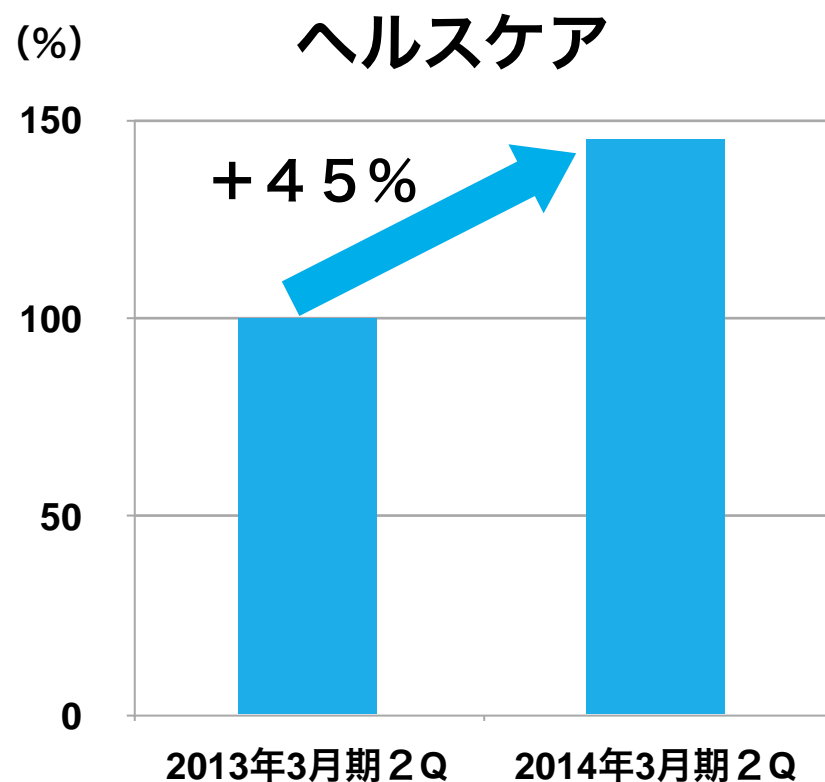
■ スマホへ順調に移行、過去最高月間売上高を更新中！

= 2011年度の3Q売上高を100とした場合の、四半期売上高の推移 =



ITサービス・セグメントの重点事業（ヘルスケア・GRANDIT）も堅調

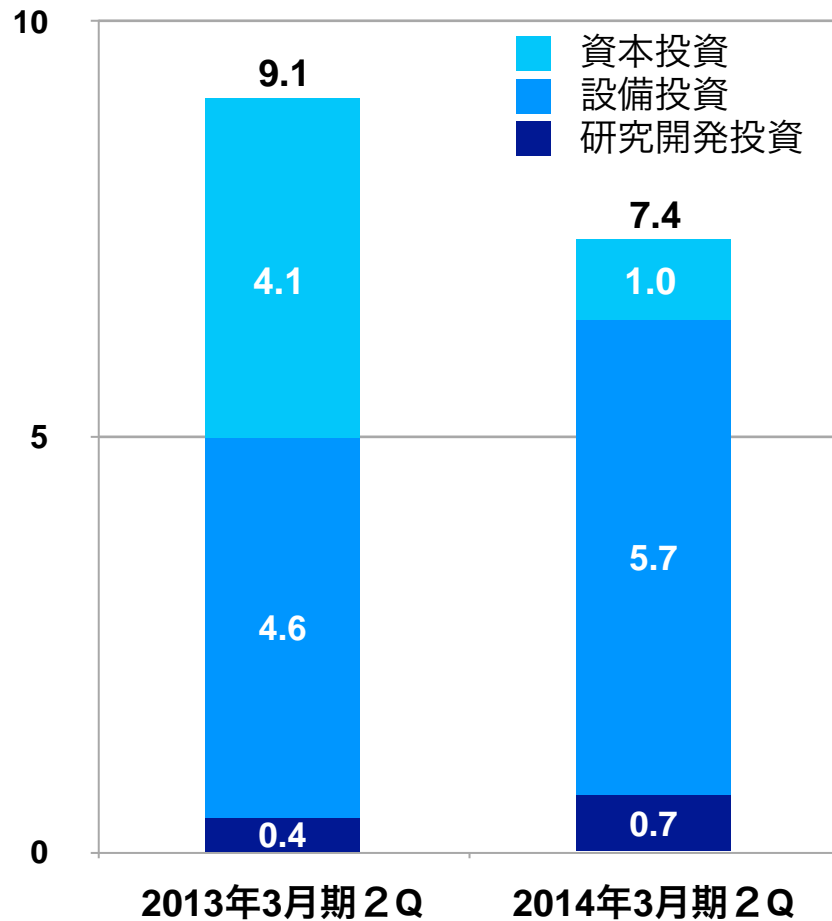
= 2013年3月期第2四半期の売上高を100とした場合の、売上高伸長率 =



投資実績

成長加速に向けて、積極的な投資を実施中

(億円)



主な内容		(億円)
資本投資	ベンチャーキャピタルへの出資	1.0
	その他	
設備投資	ネットビジネスゲーム開発	5.7
	ネットビジネス新サービス開発	
	ヘルスケア看護システム開発	
	ヘルスケア放射線システム機能強化	
	ヘルスケア病棟薬剤業務システム開発	
	GRANDIT開発 他	
研究開発投資	スマートデバイス活用の研究	0.7
	その他	

シックス・アパートの米国法人や合併会社インフォミュートス(株)を設立したが、上記には含まず。

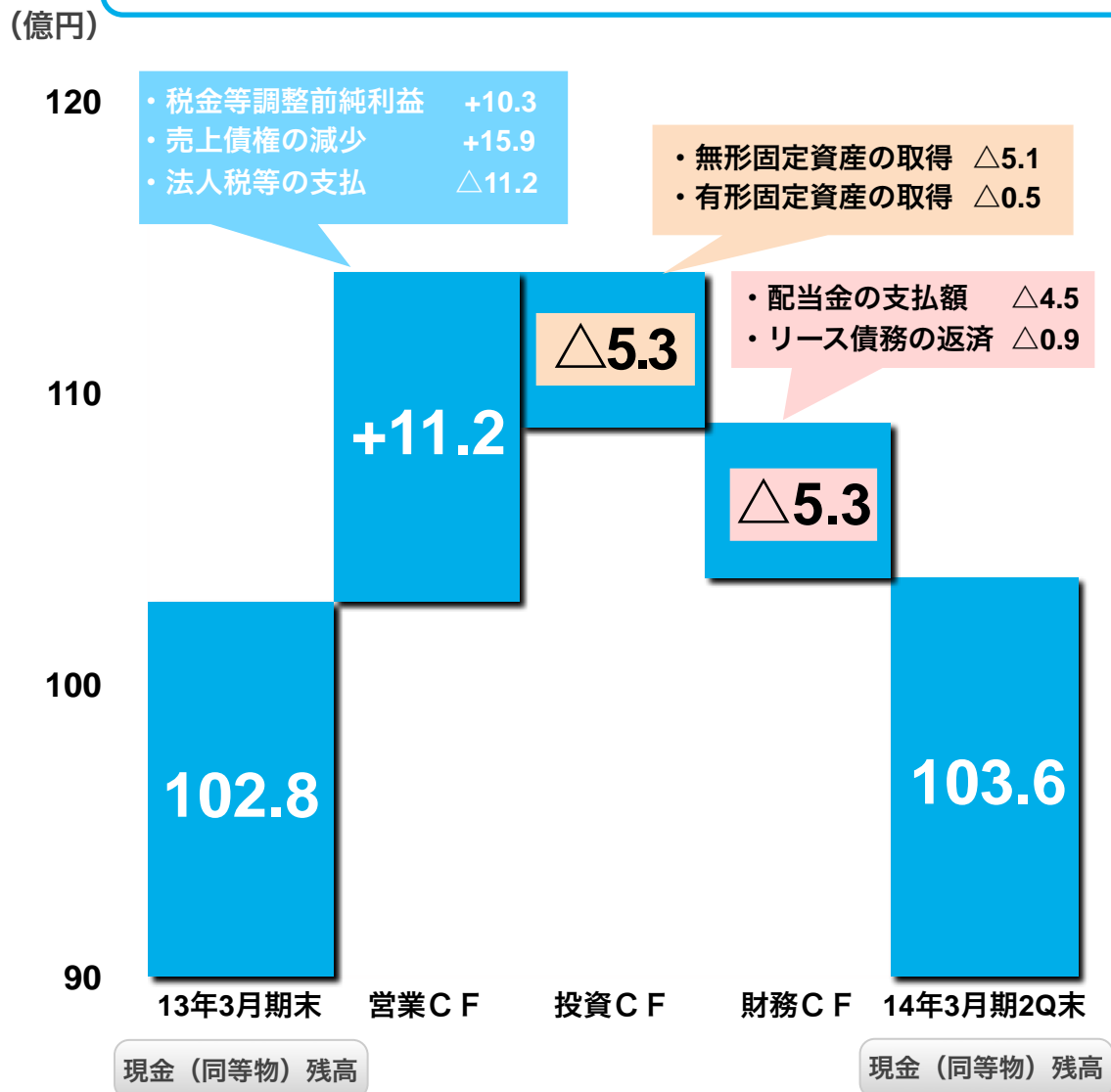
貸借対照表 (連結)

(単位：億円、%)

	2013年3月期末		2014年3月期2Q末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	194.3	74.1	183.6	73.1	△10.7	・現金及び預金+0.7 ・受取手形及び売掛金△15.8 ・たな卸資産+3.0
固定資産	67.7	25.9	67.7	26.9	△0.0	
資産合計	262.1	100.0	251.3	100.0	△10.7	
流動負債	79.7	30.4	67.6	26.9	△12.1	・買掛金△2.1 ・賞与引当金△1.2 ・未払法人税△7.4
固定負債	3.6	1.4	3.1	1.3	△0.4	
負債合計	83.4	31.8	70.7	28.2	△12.6	
純資産合計	178.7	68.2	180.5	71.8	+1.8	・利益剰余金+0.9 ・自己株式+0.1 ・少数株主持分+0.2
負債・純資産合計	262.1	100.0	251.3	100.0	△10.7	
自己資本比率	67.6%		71.0%			

キャッシュ・フロー（連結）

■ 上期は営業キャッシュフローのほとんどを、投資と株主還元



(億円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	増減
営業キャッシュ・フロー	16.0	11.2	Δ 4.7
投資キャッシュ・フロー	Δ 8.7	Δ 5.3	+3.4
フリーキャッシュ・フロー	7.3	5.9	Δ 1.3
財務キャッシュ・フロー	Δ 6.3	Δ 5.3	+1.0
現金及び現金同等物 に係わる換算差額等	0.0	0.1	+0.1
現金及び現金同等物 の増減額	0.9	0.8	Δ 0.1
現金及び現金同等物 の期首残高	97.7	102.8	+5.1
現金及び現金同等物 の期末残高	98.7	103.6	+4.9

2 2014年3月期 通期業績予想

2014年3月期 通期業績予想 (連結)

計画通り進捗しているので、通期業績予想の変更は無し

(単位：億円)

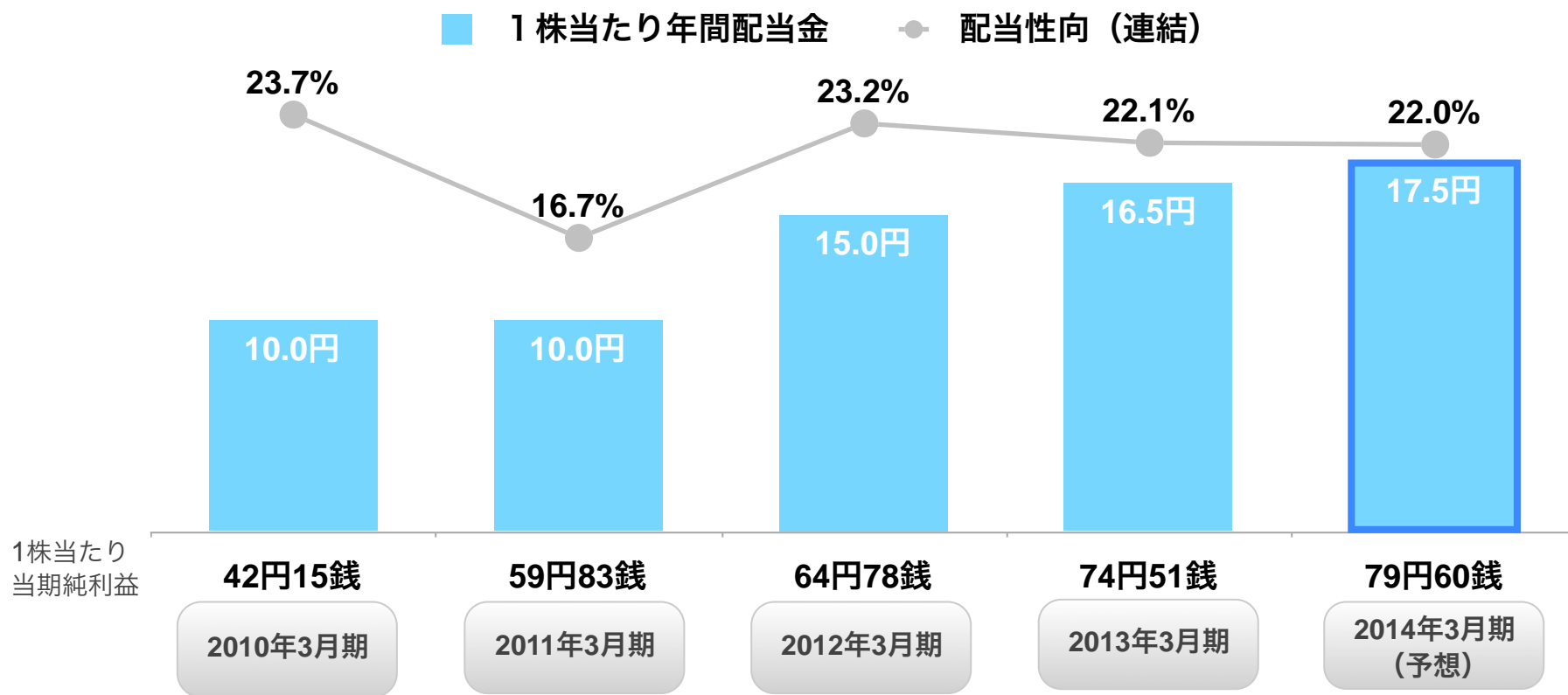
	2013年3月期 実績			2014年3月期 予想			
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期	前年同期比
売上高	162.8	211.0	373.8	177.9	222.1	400.0	+26.2
営業利益	10.3	24.7	35.0	9.3	26.7	36.0	+1.0
経常利益	10.4	24.4	34.8	9.3	26.7	36.0	+1.2
当期純利益	6.4	14.4	20.8	5.4	16.6	22.0	+1.2
EPS※	74.51円			79.60円			+5.1円
ROE	12.2%			12%			

※当社は、2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

これに伴い、EPS（1株当たり当期純利益）の実績値および予想値は当該株式分割の影響を考慮し記載しております。

株主還元

■ 配当：2014年3月期は1円の増配を予定（普通配当としては+2.5円）



(注) 当社は2013年10月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。
そのため、株式分割前の1株当たり年間配当金および1株当たり当期純利益は株式分割を考慮した数値に修正しております。

3 上期主要施策と下期取り組み

上期の主な経営施策

2014年3月期 短期経営計画基本方針

1. 環境変化へのスピーディな対応による“進化”

- ・ チャレンジ文化の醸成と新規事業・サービスの創出
- ・ 市場変化、技術変化へのスピーディな対応

2. 重点事業領域の業容拡大に向けた“進化”

- ・ ネットビジネス、ヘルスケア領域での成長加速と企業向けITサービスの拡充・変革

- ・ M&Aの積極的推進による成長加速

3. “進化”を支える事業基盤の継続的強化

- ・ 顧客視点、品質視点を重視した業務プロセス革新
- ・ 事業推進、グローバル視点での人材育成強化

上期の主要施策

1. 環境変化へのスピーディな対応による“進化”

- ・ **ネットビジネス事業を分社化（アムタス社設立）**
- ・ 宮城県岩沼市に震災被災地の復興を支援する多目的施設を建設し継続的社会貢献活動の実施と農業ITの検討

2. 重点事業領域の業容拡大に向けた“進化”

- ・ ネットビジネス
 - 電子書籍サービスが通信キャリア公式メニューで1位を独占
 - ゲーム配信サービスは海外市場の人気ゲームを国内に配信開始
- ・ ヘルスケア
 - 放射線部門システム領域におけるシェア拡大を目指し営業強化
 - 医療機関向け新製品・サービスの開発を継続
 - 医薬品業界向けサービスの強化を目的に業界有力企業と共同出資し連結子会社を設立
- ・ GRANDIT
 - 多言語対応、消費税対応などの機能強化を継続
 - 業界有力企業との業務提携など事業推進体制の強化を継続

3. “進化”を支える事業基盤の継続的強化

- ・ **米国シリコンバレーへの拠点設置と現地VCとの戦略的提携**
- ・ 成長加速に向けた人事制度改革の継続
- ・ ワークスタイル変革の検討と実施

ヘルスケア 下期の取り組み

上期の施策

A J S株式会社（A J S）からの
事業譲受

下期の取組み

- 更なるA J Sとのシナジー効果
- 手術部門システムの受注増
- 新規製品の開発

業容拡大

医療
機
関
向
け

● 事業基盤の更なる強化と新商材の拡充

● A J Sとのシナジー

既存顧客地位承継に加え、営業/導入力強化

● 手術部門システムの受注増

電子カルテベンダー、医療機器メーカーへの販路拡大

● 次年度に向けた新製品開発、既存製品強化

看護勤務管理システムの市場投入、Medi-Bankのリニューアル

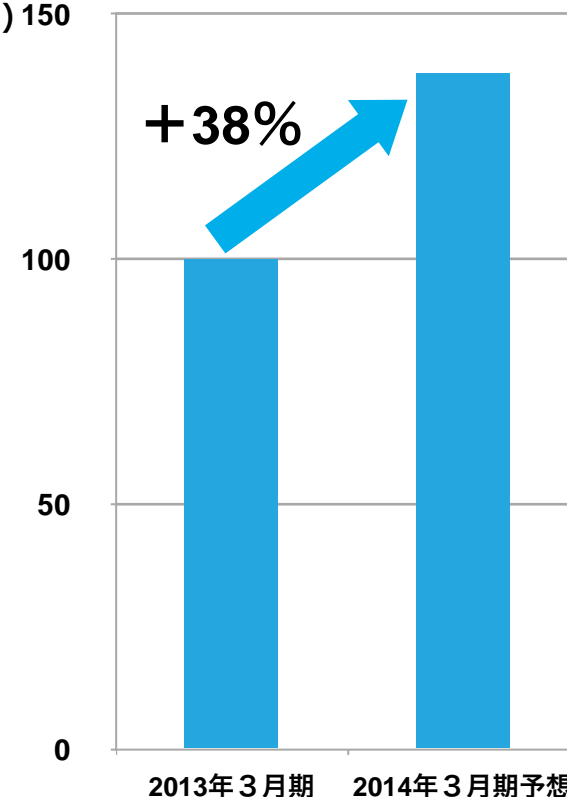
新
事
業
展
開

● 医療分野の経験・ノウハウを活用し新たな市場開拓の推進

● 製薬向けビジネスの拡大

インフォミュートスによる製薬向けビジネスの展開

2013年3月期の売上高を
100とした場合の、売上高伸長率
(%) 150



GRANDIT 下期の取り組み

製品ロードマップ

基本方針

製品&サービスの段階的強化

パートナー社製品との連携により、矢継ぎ早に展開

主要計画

- ・ 2013年10月 人事考課/目標設定オプション
- ・ 2014年4月 SFA/CRMオプション、給与明細配信サービス、セキュアネットワークサービス
- ・ 2014年10月 V2.2リリース（最新インフラ対応、タブレット対応、新データマート、その他全般的機能強化版）

販売力強化

2013年9月末

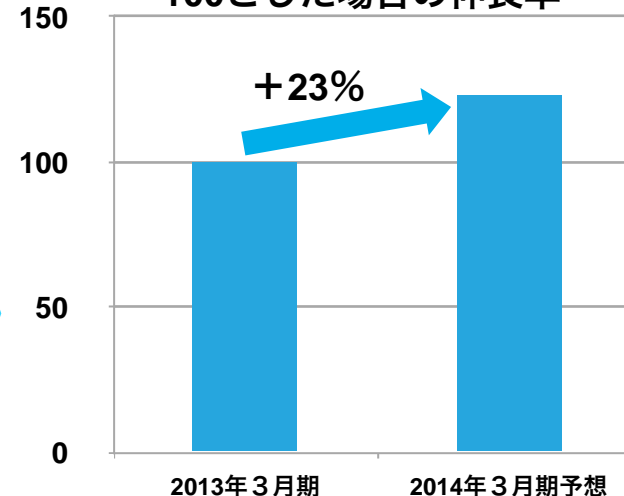
販売パートナー
57社

2014年3月末

70社

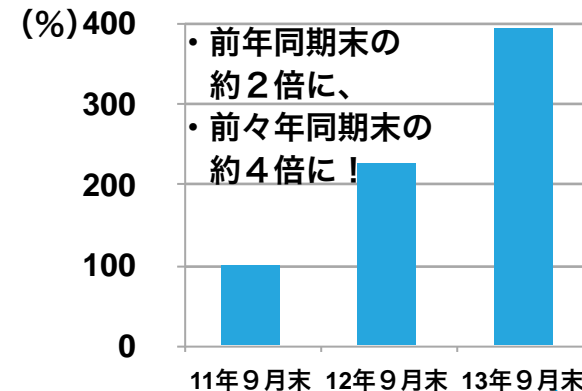
■ 導入数 700社

(%) =2013年3月期の売上高を100とした場合の伸長率=



ライセンス引合い状況

=2011年9末を100とした場合の増加率=



IR担当窓口

本資料は、当社の会社説明・業績説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料で取り扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については億円単位の数値で算出しています。本資料は一部を除き2013年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。

問い合わせ先

インフォコム株式会社

広報・IR室長 松尾 宏治

TEL：03-6866-3160

アマタスの事業展開について

アムタスについて

■ 分社化の目的

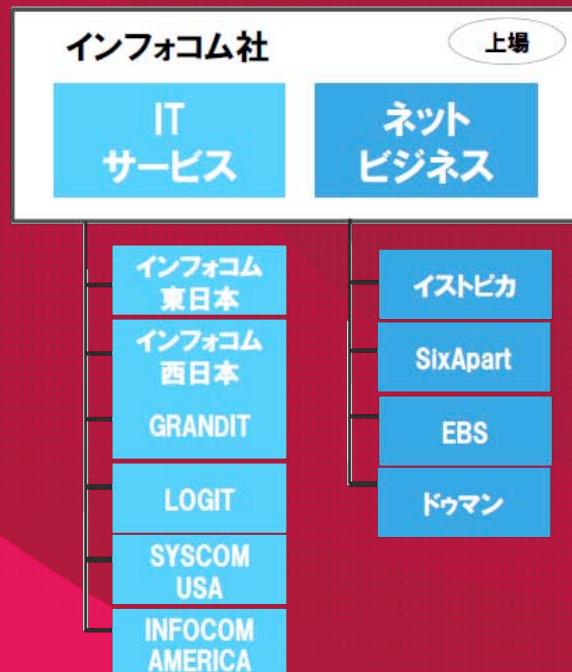
1. 機動的・積極的なM&Aによる事業規模の拡大
2. 権限委譲による事業推進力強化と意思決定のスピードUP

ITサービス
セグメント

ヘルスケア事業
エンタープライズ事業
サービスビジネス事業
医療・企業・公共機関向け

ネットビジネス
セグメント

ネットビジネス事業
一般消費者向け
電子書籍、ゲーム



持分比率
100%



アマタスの事業領域

■ アマタスの事業領域

一般消費者向け分野（B2C）を事業領域としており、さまざまなコンテンツサービスを提供しています。特に電子書籍は業界トップリーダーとしてお客様に満足いただけるよう注力しています。

ひとり占めする
“楽しいひととき”



音楽



電子書籍



エンタメ



買う (Eコマース)

パーソナルサービス事業

わかちあう
“楽しいひととき”



情報



ゲーム



コミュニティ

ソーシャルサービス事業

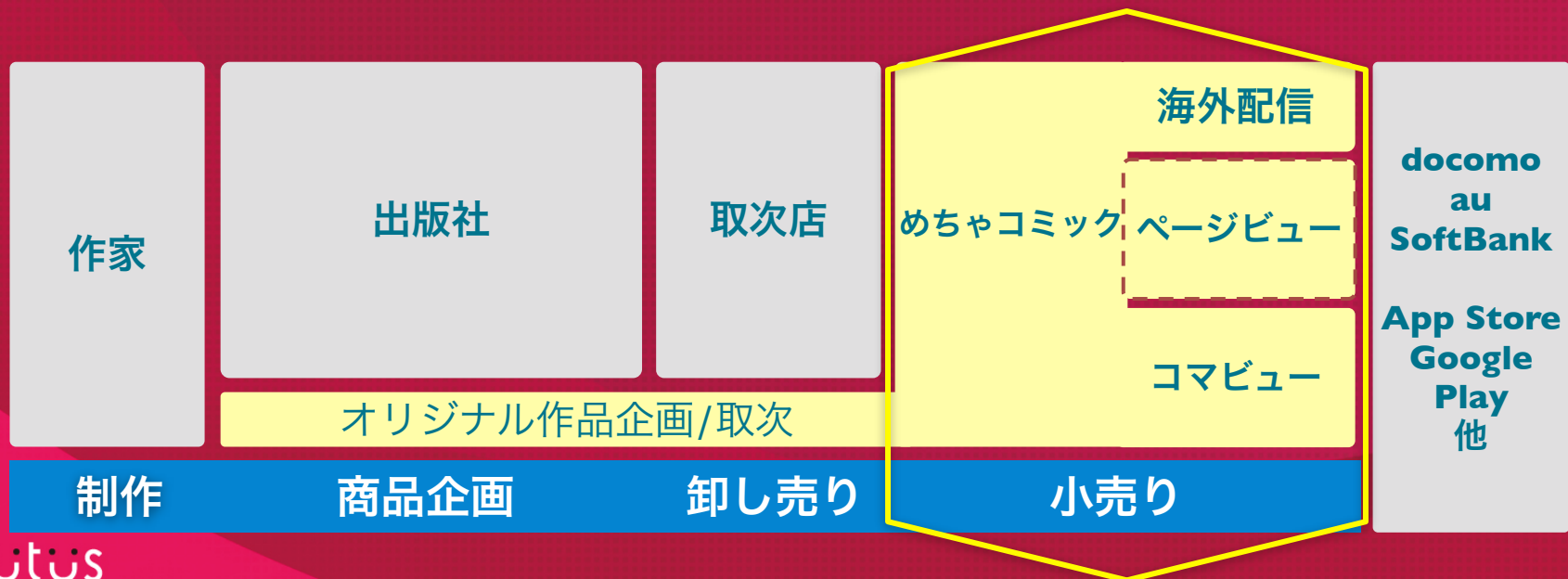
電子書籍の戦略

■ 短中期戦略

- ・ コマビューサービスでの圧倒的シェアの確保
- ・ コマでの経験を活かしたページビューサービスと新しい楽しみ方の提供

■ 長期戦略

小売りから制作までのバリューチェーンをアムタスグループで実現したい



上半期の取組み

docomo/au/SoftBankの
公式メニューで
スマートフォン/ガラケー
共に1位を独占

一人あたり利用額向上

スマホ：ウェブマネー
決済対応

ガラケー：ウェブマネー
決済対応

ガラケー：クレジット
決済対応

スマホ：ソフトバンク
高額決済対応

ポイント
キャンペーン

ポイント
キャンペーン

ポイント
キャンペーン

レコメンデーション機能強化

顧客ロイヤリティ向上

スマホ：
ソーシャルプラグイン導入

スマホ：
サイトリニューアル

コールセンターサービス改善

海外配信開始

事業領域拡大

オリジナル一般作品 制作強化

エブリスタ大賞
協賛

amutus

2013年度1Q

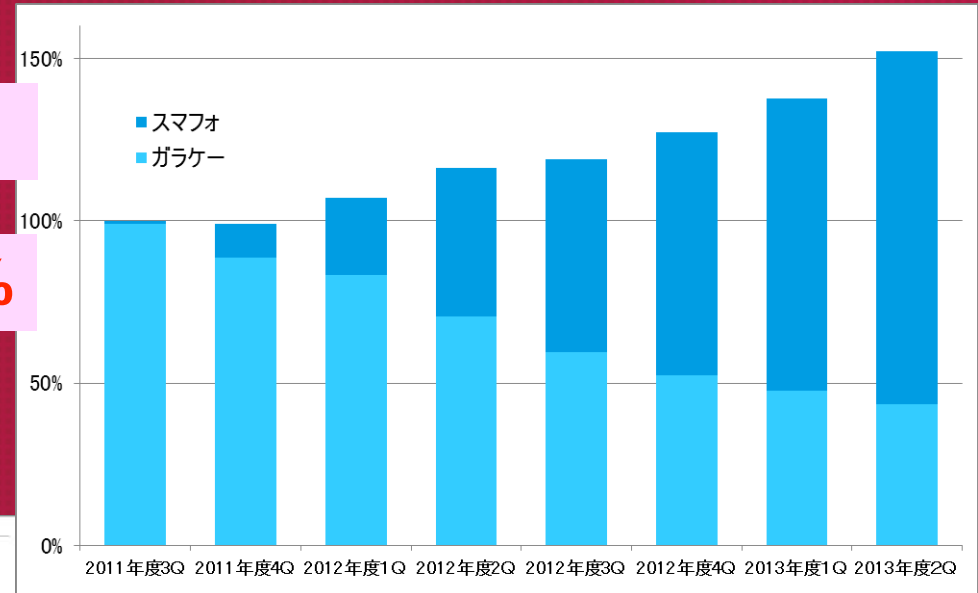
2013年度2Q

上半期の取組み

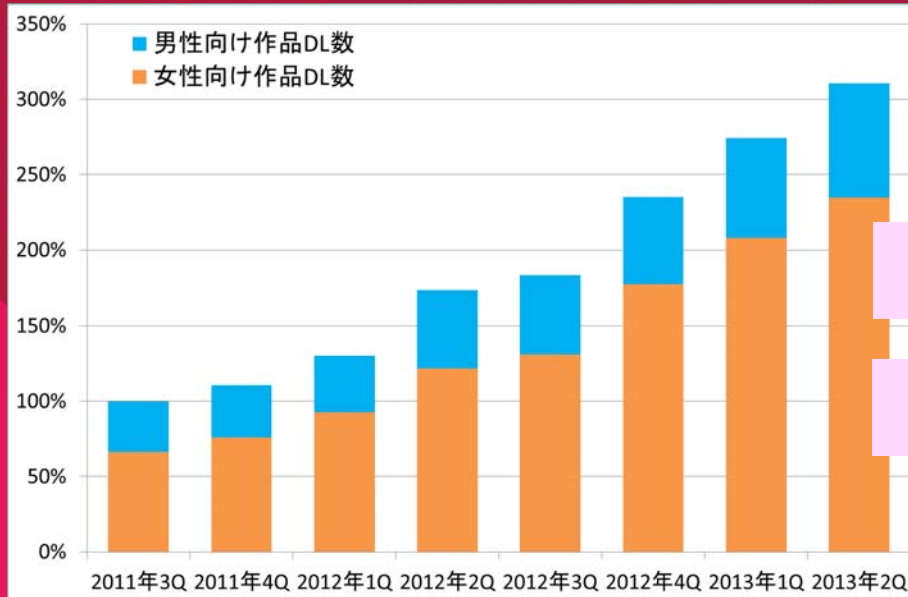
めちゃコミックの売上高推移

成長率152%

スマホ比率71%



一般コミックの成長と利用割合



成長率311%

女性比率76%

上半期の取組み

■ 一般オリジナルコミック

- 他のサイトでは読めない、めちゃコミックだけの作品です。
- 制作期間が短く、お客様を待たせずに配信できます。
- お客様のニーズに沿った作品を高品質でご提供しています。



※2013年度にめちゃコミックで配信された女性向けオリジナルコミック

海外展開

デジタルコンテンツの海外流通

アムタスの海外展開はゲームアプリ等のデジタルコンテンツの海外流通を軸として展開を行っています



電子書籍下半期の取組み

1. 女性読者層に好評な一般コミックの拡充を進め、一層の収益拡大を狙います。
2. 新たな市場ニーズに対応するため、電子書籍ページビューサービスを開始します。
3. 国内外の高品質なコンテンツを日本及びアジア圏市場へ投入し、デジタルコンテンツのグローバルパブリッシャーとしての地位を目指します。